

令和元年度「市長と語り合う会」について

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和元年 11月25日（月）	匹見タウンホール	18:30～19:30	29	7	36

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会 （秘書課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

本年度の施政方針における基本方針は「連携の充実と発信」である。「連携の強化」「連携の進化（深化）」に続き本年度も「連携」をキーワードとしている。行政だけでは十分に物事が進めにくくなっており、民間団体や近隣市町、県、国と連携して効果的に行い、かつそれを効果的に発信すべく取り組んでいる。

・SDGs（持続可能な開発目標）に着目

今年度からこの連携にかかる考え方として新たに、SDGsを取り入れている。これは2015年に国連で採択された、2030年までに全世界一緒に達成することとされた17の目標である。その中には「飢餓をゼロに」など日本においては既に達成されているものもあるが、「気候変動に具体的な対策を」や「作る責任・使う責任」など先進国共通の課題なども含まれており、「パートナーシップで目標を達成」などは施政方針にも通じる考えである。市が施策を講じていくうえで、世界共通の目標と合致させ、より幅広い視点で地域の施策の在り方を見直そうという狙いがある。連携の相手方とも世界共通の目標を共有し、共通の言葉で連携を深めることもできると考えている。今後市の計画策定などで、SDGsの目標のどれに該当するかを意識し、明記して、わかりやすく説明していきたいと考えている。

・萩・石見空港の利活用

東京線は平成26年から現在の1日2往復が復活し更新されて現在に至るが、令和2年下半期以降の発着枠について、上半期中に見直しが行われる。政策コンテストにより判断されるが、ぜひこれを勝ち取りたい。空港は産業・観光振興、病院の医師確保など広い意味で地域の発展に不可欠であり、益田市始め圏域全体の課題と考える。利活用には市民の民様のご理解ご協力が欠かせない。引き続きよろしくお願い申し上げます。

・ひとつづくりと人材確保

平成28年3月に「ひとつづくり協働構想」という人材育成の計画を策定した。この中で未来・仕事・地域づくりの担い手を様々な関係機関と連携して行うことを定めた。いまは市内企業も人手不足であり、人材の育成と確保を重要視している。特にいま児童生徒を対象に、地域の魅力に触れ合う機会の創出を積極的に行っており、そのひとつとして「カタリバ（注）」がある。参加する企業にとっても社員研修の一環として認知いただき、継続して関与頂いている企業がある。また、高校生が語る側となる小中学生対象の応用展開など、「益田版カタリバ」として独自の進化をしている。こうして人材育成と益田市の特色づくりにつながることを期待できる。

（注）「カタリバ」：高校生と、若い地元社会人とがひざ詰めで語らう機会を設ける事業。交流を通して高校生は自分の進路と地元について考える機会を、社会人は地域人として自分を見つめ直す機会を得ることができ、独自のキャリア教育として注目されている。

このほか、匹見峡温泉の再開についても関心が高いと思われる。年末年始に帰省される方にも利用していただけるよう、温泉だけでも年内に再開できないか調整を行っている。指定管理者も3度募集したが指定に至っていないので、まずは業務委託の形での運営を検討している。我が町の温泉として、地域の皆様にも管理運営に手を上げていただければと考えている。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 小中一貫校について
- ② 匹見峡温泉について（1）
- ③ 匹見峡温泉について（2）
- ④ 匹見峡温泉について（3）
- ⑤ 匹見峡温泉について（4）
- ⑥ 小中学校エアコン設置について
- ⑦ 支所の機構改革について
- ⑧ 防犯灯について（1）
- ⑨ 防犯灯について（2）
- ⑩ クマ被害について

○ 閉 会 （秘書課長）

令和元年度「市長と語り合う会」

〔会場 匹見タウンホール 開催日時：令和元年11月25日（月）18:30～19:30〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 小中一貫校について 今年、匹見小・中は指定研究対象校になっており、コミュニティスクールの活動を行っている。PTA内で、1年生～9年生の「義務教育学校」としてはどうかという議論を始めた。校長が1人で足りるとか、非常勤や兼務が多い教員配置状況を何とかしたいという思いからであるが、どう考えるか。</p>	<p>① 一般論として、小学校は地域の社会教育などとの関係性から、再編しない方向性で考え、中学校はより大きな社会集団での学習を重視して再編を含めて検討しているが、通学距離が長くなりすぎるため、旧町堺をまたぐ統合は難しいと考える。匹見小中学校については、お話のあったような方向性も考えられ、12月に地元ヒアリングを行って検討するが、今いただいたご意見も伝えたい。</p>
<p>② 匹見峡温泉について（1） 温泉は再開されるか。</p>	<p>② 休止から1年近く経ちご不便をおかけしている。指定管理者を決めて運営したいが、まだ決定に至らない。しかし年末年始には多くのご利用が想定されるので、業務委託による年内の再開を目指したい。</p>
<p>③ 匹見峡温泉について（2） 休館に至る説明責任が果たされていない。破綻した原因を把握することが大事。また食堂・宿泊施設がなく温泉のみではダメで、どれだけ費用が掛かるか示す必要がある。閉館した時に備品を処分したが、再開が頭になかったのか。住民の協力をどう確保する考えか。指定管理料は温泉に対してだけのものと感じる。宿泊などにかかる費用も計上するべきではないのか。</p>	<p>③ 休館に至る経緯だが、付帯施設を含め（株）ひきみが指定管理者として運営していた。累積的な採算悪化や人員確保の困難化などにより指定管理者を返上し、のちに解散した。これに替わる指定管理者の公募をかけたが、想定の利用者数・利益・コストから指定管理料を予算化している。三度の公募に対し一回応募があったが、これは継続的営業に不安があり、選定に至らなかった。新年度の新たな公募にあたっては指定管理料の見直しも検討しなければならないかもしれない。備品についてだが、会社所有の資産を行政が自由にできるものではなく、会社整理にあたり整理された。当然ながら市所有の資産や、特に大事な設備等は確保している。地元の方には奮ってご利用いただきたい。地元の企業・団体にも運営・人材面のご協力をいただきたい。指定管理料について、施設は市の所有であり維持・修繕は市が直接行うので、この費用は別である。</p>
<p>④ 匹見峡温泉について（3） バイオマスボイラーについては要望しても通らなかった。支所から声を上げて市長まで届かず、基金頼みでやってきたことで、経営圧迫の原因になったのではないか。</p>	<p>④ 費用面を含めリスク分担については協定書の定めに基づく。ボイラーは協定後に市が設置したものだが、その分担についての協議が不十分だった。しかしボイラー導入で燃料費が節約できるなど経営メリットもあったわけで、一概に負担を増大させたとは言えない。協議不足は反省点である。</p>
<p>⑤ 匹見峡温泉について（4） バイオマスボイラーの件だが、美都はチップで匹見は薪である。その違いは何か。同じものを同時に導入した方が安くなるのではないか。</p>	<p>⑤ 美都にはまだ導入していない。匹見のケースを参考に検討している。利用券について、10月の時点では閉鎖は決まっていない。徐々に経営悪化していたのは事実だが、会社が指定管理返上を決めたの</p>

<p>また、昨年10月頃に閉鎖の話が出ていたと思うが、その後も温泉のチケットを売っていた。お金は帰ってこないが。</p> <p>⑥ 小中学校エアコン設置について 達成率はどれぐらいか。設置の見通しは。</p> <p>⑦ 支所の機構改革について 顧問、専任の支所長と順次廃止され、政策企画局長が支所長を兼務し本庁と一元化して取り組むという説明だが、以前温泉の説明会があったとき説明者が参事だったため、「馬鹿にされた」という参加者の声も聞かれた。大事な場面では局長同席などの対応をとるべきではなかったか。</p> <p>⑧ 防犯灯について（1） 廃止が決まったが、有害鳥獣への対応はどうしていく考えか。</p> <p>⑨ 防犯灯について（2） LED化すれば維持費は安くなる。そこを市が多少補助すればよいのではないか。ソーラーシステム等導入も電気代節約につながる。</p> <p>⑩ クマ被害について 現状を国・県にもよく説明して、狩猟対象として認めてもらえるようにしてほしい。</p>	<p>は1月末閉鎖の少し前で、返上決定後も売っていたということはないと認識している。また今後の温泉再開に際して、すでにお持ちのチケットは使っていただけるようにしたいと考えている。</p> <p>⑥ 達成率は不明だが、今年度中には全小中学校の教室に設置予定であると教育委員会から聞いている。</p> <p>⑦ 基本的には市役所全体で業務を見直し、全体の職員数抑制の中で優先度をつけてきたものである。例として、少子化の中ではあるが子ども福祉の課題は増えており、人員を割かざるを得ない。その上で支所の風通しを良くする方策を考えており、支所長の常駐は難しいがなるべく出向くようにしている。温泉の説明会については、その後の見通しが立たない時期であり、仮に私が出てても何も答えられない状況であった。課長・参事も管理職であり、市を代表する立場である。これまで以上に少人数で多くの物事をこなしていかなければならない状況であり、様々な手段を用いて努力を続けていきたい。</p> <p>⑧ 合併時の調整項目として旧3市町の考え方に差があり旧匹見町では町負担の部分が大きかった。同じ益田市の地域間で生じる格差をいつまでもそのままにはできず、地域へのご負担をお願いすることとなる。</p> <p>⑨ 市全体でのLED化やソーラー導入の補助金は検討課題だと思う。ただ匹見に対してだけそれを行うのは、他地域の理解を得にくいと考える。</p> <p>⑩ ツキノワグマは西中国3県でだけ保護鳥獣とされている。愛護の立場もわかるが、クマの生息域も広がり遭遇する危険も大きいと考える。鳥獣保護法に関して環境省・県に対して強く訴え、かなり改善されたと聞いている。ルール・運用で住民の理解を得られるよう要望していきたい。</p>
---	--